

れいはいはさいこうのしゅくふく

まいにち  
れいはい

わたしを あいしてくださる かみさまに  
さいこうの えいこうを ささげましょう

# しんでん さいけんの はげまし



- いのり \_\_\_\_\_ しかいしゃ  
しとしんじょう \_\_\_\_\_ みんなで  
さんび \_\_\_\_\_ さんびか 379 ばん (みことばききて) しんでんをつくります (2012 ねんこどもさんび)
- せいしよ \_\_\_\_\_ ハガイ 1 章 1~14 節

ハガイ 1:1~14 <sup>しゅ</sup>主は、<sup>こ</sup>シェアルティエルの子、<sup>そうとく</sup>ユダの総督ゼルバベルの<sup>こころ</sup>心と、<sup>こ</sup>エホツアダクの子、<sup>だいまいし</sup>大祭司ヨシュアの<sup>こころ</sup>心と、<sup>たみ</sup>民のすべての<sup>のこ</sup>残りの<sup>もの</sup>者の<sup>こころ</sup>心とを<sup>こころ</sup>奮い<sup>ふる</sup>立たせたので、<sup>かれ</sup>彼らは<sup>かれ</sup>彼らの<sup>かみ</sup>神、<sup>ばんぐん</sup>万軍の<sup>しゅ</sup>主の宮<sup>みや</sup>に行<sup>い</sup>って、<sup>しごと</sup>仕事<sup>と</sup>に取りか<sup>と</sup>かった。(14)

- みことば \_\_\_\_\_ しんでん さいけんの よびかけ \_\_\_\_\_ しかいしゃ

バビロンに<sup>ほりよ</sup>捕虜<sup>たみ</sup>とな<sup>おお</sup>っていて、<sup>くろ</sup>イスラエルの民は、<sup>けいけん</sup>多くの苦<sup>くろ</sup>しみを経<sup>けいけん</sup>験<sup>し</sup>ました。そのような  
イスラエルの<sup>たみ</sup>民が、<sup>す</sup>もともと住<sup>ち</sup>んでいた<sup>かえ</sup>地に帰<sup>い</sup>って行<sup>い</sup>くとき、<sup>い</sup>どれほどうれ<sup>い</sup>しかった<sup>い</sup>でしょうか。  
<sup>こころ</sup>心<sup>を</sup>は<sup>し</sup>ず<sup>ま</sup>せて、<sup>しんでん</sup>神<sup>を</sup>殿<sup>を</sup>建<sup>た</sup>て<sup>は</sup>じ<sup>め</sup>た<sup>の</sup>で<sup>し</sup>た。

ところが、しばらくして、<sup>みんぞく</sup>サマ<sup>り</sup>ヤとまわりの<sup>くろ</sup>民族<sup>によ</sup>って<sup>くろ</sup>苦しめ<sup>ら</sup>れ<sup>は</sup>じ<sup>め</sup>ま<sup>し</sup>た。イスラエルの  
<sup>たみ</sup>民は、<sup>かぞく</sup>家<sup>を</sup>族<sup>を</sup>守<sup>まも</sup>る<sup>た</sup>めに、<sup>いえ</sup>それぞ<sup>れ</sup>の家<sup>を</sup>を<sup>た</sup>建<sup>て</sup>る<sup>こ</sup>に<sup>に</sup>だ<sup>け</sup>に、<sup>かんしん</sup>関<sup>心</sup>を<sup>も</sup>持<sup>ち</sup>ま<sup>し</sup>た。<sup>しんでん</sup>神<sup>殿</sup>のま<sup>わ</sup>りに  
<sup>ひと</sup>人<sup>が</sup>行<sup>く</sup>こ<sup>と</sup>が<sup>な</sup>く<sup>な</sup>り、<sup>しんでん</sup>神<sup>殿</sup>は<sup>く</sup>崩<sup>れ</sup>た<sup>た</sup>建<sup>物</sup>のよ<sup>う</sup>に<sup>のこ</sup>残<sup>り</sup>ま<sup>し</sup>た。

そのとき、<sup>かみさま</sup>神<sup>様</sup>が<sup>ハガイ</sup>に<sup>み</sup>こ<sup>と</sup>ば<sup>を</sup>与<sup>え</sup>ら<sup>れ</sup>ま<sup>し</sup>た。<sup>かみさま</sup>神<sup>様</sup>は<sup>その</sup>よ<sup>う</sup>な<sup>たみ</sup>民<sup>の</sup>苦<sup>くろ</sup>勞<sup>と</sup>努<sup>ど</sup>り<sup>よ</sup>く  
言<sup>わ</sup>れ<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>。そ<sup>し</sup>て<sup>ほりよ</sup>捕<sup>かえ</sup>虜<sup>ち</sup>から<sup>ちから</sup>帰<sup>かえ</sup>っ<sup>た</sup>力<sup>が</sup>な<sup>い</sup>い<sup>イスラエル</sup>の<sup>たみ</sup>民<sup>に</sup>、<sup>たみ</sup>わ<sup>た</sup>し<sup>が</sup>あ<sup>な</sup>た<sup>が</sup>た<sup>と</sup>も<sup>に</sup>  
い<sup>る</sup>と<sup>やくそく</sup>約<sup>束</sup>し<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>ま<sup>し</sup>た。<sup>みことば</sup>み<sup>こ</sup>と<sup>ば</sup>で<sup>こころ</sup>心<sup>を</sup>奮<sup>ふる</sup>い<sup>た</sup>た<sup>せ</sup>た<sup>たみ</sup>民<sup>は</sup>、<sup>いちど</sup>も<sup>う</sup>一<sup>しんでん</sup>度<sup>に</sup>、<sup>た</sup>神<sup>殿</sup>を<sup>た</sup>建<sup>て</sup>は<sup>じ</sup>め<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>。  
<sup>わたし</sup>私<sup>の</sup>こ<sup>ころ</sup>心<sup>に</sup>も、<sup>かみさま</sup>神<sup>様</sup>の<sup>み</sup>こ<sup>と</sup>ば<sup>が</sup>込<sup>め</sup>ら<sup>れ</sup>れ<sup>ば</sup>よ<sup>い</sup>の<sup>で</sup>す。<sup>かみさま</sup>神<sup>様</sup>が<sup>わたし</sup>私<sup>と</sup>も<sup>に</sup>お<sup>ら</sup>れ、<sup>みちび</sup>導<sup>いて</sup>  
く<sup>だ</sup>さ<sup>る</sup>の<sup>で</sup>き<sup>ょう</sup>も<sup>ちから</sup>力<sup>を</sup>受<sup>け</sup>ま<sup>し</sup>よ<sup>う</sup>！

- いのり \_\_\_\_\_ いっしょに おおきなこえで  
いのりましょう

ちちなる かみさま！ きょうも わたしと ともにいて くださって ありがとうございます。  
わたしの こころに かみさまの みことばが こめられますように。 わたしの かんしんが  
みことばに むかうように させてください。 イエス・キリストの おなまえによって  
おいのりします。アーメン

- しゅのいのり \_\_\_\_\_ いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう
- フォーラム \_\_\_\_\_ きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう

113とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば  
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。  
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん  
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

**わたしは、**

**おまえと おんなとの あいだに、**

**また、おまえの しそんと**

**おんなの しそんとの あいだに、**

**てきいを おく。**

**かれは、おまえの あたまを**

**ふみくだき、**

**おまえは、かれの かかるとに**

**かみつく。**

そうせいき3しょう15せつの みことば

かみさまは ハガイを とおして イスラエルの たみに  
しんでんを たてなさいと いわれました。 かみさまは ハガイの  
ように わたしも このよの ひとに イエス・キリストの  
けいやくを つたえる でんどうしゃとして よばれました。  
えを みて ○のところに あう えを つぎの ページから  
みつけて きりとって はりましょう。

じゅんびする もの： はさみ のり つぎのページ



ふろく ★ まえの ページで つかいましょう

てんせんを はさみで きりましょう



かくしんの ないようを こころに きざみましょう

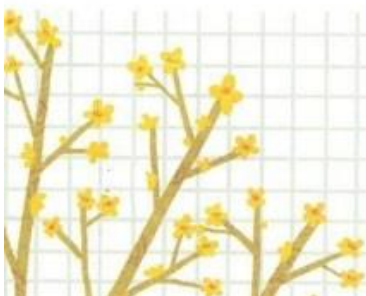


きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。  
きょうの みことばの もういちど かんがえて したの  
ないようを いっしょに よんで じゅうような たんごを  
なぞって かきましょう。

(しんでん) は くずれた たてもののよう  
のこりました。

ほりよから かえってきた ちからがない イスラエルの たみに、  
わたしが (あなたがた) と (ともに) いると  
(やくそく) してくださいました。

(みことば) で こころを ふるいたたせた たみは、  
もういちど、しんでんを たてはじめました。



さがして いろをぬろう

かくれている えを みつけたり きれいに いろを  
ぬったり しましょう

どこ？

かみさまは イザヤよげんしゃを とおして「くずれた しんでんを  
あたらしく たてる」と いわれた みことばを なしとげるために  
バビロン、ペルシヤ、クロスおうを もちいられました。そして  
イスラエルの たみを じぶんの くにに もういちど おくられ  
ました。みことばで ころを ふるいたたせた たみは もういちど  
しんでんを たてはじめました。かみさまは せいいいで わたしの  
なかに とともに おられ みことばで ころを ふるいたたせて くださいます。  
えに いろを ぬりながら わたしの ころに かみさまの みことばを  
こめましょう

06

もくようび





パパとママと いっしょに おはなしして  
かみさまが よるこばれる かんがえ ことば こうどうを  
えで ひょうげんしましょう。

かみさまは いわの うえに きょうかいを たてられます。  
かみさまの みことばが ある わたしの ところ、わたしの  
かてい、きょうかいが しんでんです。いちばん すてきな  
しんでんは どのなのでしょう。  
パパと ママと いっしょに はなしを して えで ひょうげん  
しましょう。



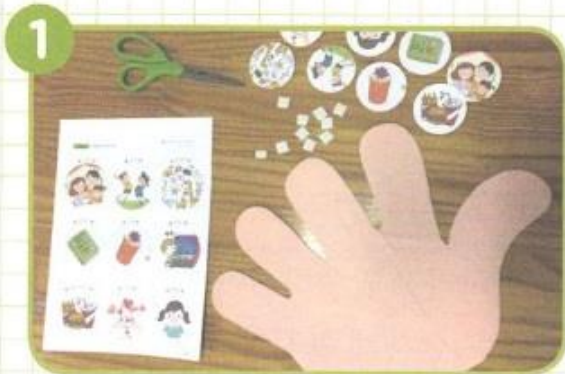
たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを  
こころに きざみましよう

わたしが すきな こと しあわせな こと かんしゃする こと  
すべて かみさまが くださいました。 かぞくと いっしょに  
すべての ことが かみさまの ことだと こくはくして  
かみさまの なかに はる あそびを しましよう。

じゅんぴする もの：A4のかみ（て、ハートの かたちの え）、はさみ、マジックテープ、  
おやつ、 つぎのページの え

TIP

1. いえの しゃしんを とって プリントアウトして つかえば こころに  
もっと きざまれるでしょう
2. つぎのページの えの ほかにも えを もっと つくって つかってください。
3. ゲームがおわったら かみさまが くださった ことに たいして  
かんしゃしましよう。



じゅんぴするものを そろえます。  
(A4の かみに て か ハートの  
かたちを かいて きりぬきます)



スタートと ゴールを きめます



スタートから ふろくの えを  
ひとつを えらんで ゴールの  
え（ハート）の えに はりましよう



さきに ひとつおとり できた ひとつが  
おいしい おかしを ひとつ  
もらって たべましよう。



★ ふろく ★

ページの ワークに つかいましょう

✂ てんせんで きりとって  
つかいましょう

★ かぞく ★



★ ともだち ★



★ おもちゃ ★



★ えほん ★



★ プレゼント ★



★ ゲーム ★



★ たべもの ★



★ ハート ★



★ しあわせ ★

